

反復復号と信号処理

井坂 元彦

通信路容量に迫る誤り率特性を示すターボ符号や LDPC 符号で用いられる「反復復号法」の概念を、符号化された伝送系に拡張することで、信号の検出・復号を精度良く、かつ効率的に行う手法が最近盛んに検討されている。本稿では、その考え方を反復（ターボ）復号法との類似性を通して説明する。

キーワード：直列接続符号、ターボ復号、信号処理